

名称：急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合

指標番号：

QIP：2002

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018, 2020

更新日：2021-04-19

指標群：循環器系疾患 薬剤

名称：急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合

意義：治療内容をみるプロセス指標

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数

分子：分母のうち、βブロッカーが投与された症例数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3：

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：

βブロッカーが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020
2123001	アセプトロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123002	アルプレノロール塩酸塩	○	○	○	○		
2123004	オクスプレノロール塩酸塩	○	○				
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123006	ブフェトロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123009	ピンドロール	○	○	○	○	○	○
2123011	アテノロール	○	○	○	○	○	○
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123015	ナドロール	○	○	○	○	○	○
2123016	ビソプロロールフマル酸塩	○	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020
2123402	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149010	メトプロロール酒石酸塩	○	○	○	○	○	○
2149011	ピンドロール	○	○	○	○	○	○
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149021	ニブラジロール	○	○	○	○	○	○
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○				
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149031	ベタキソロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149032	カルベジロール	○	○	○	○	○	○
2149033	ポピンドロール マロン酸塩	○					
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	○	○	○	○
2149700	ビソプロロール		○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1:
QIPの過去の指標では4.9%前後。

参考資料:

1:
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.
Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed a beta-blocker at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006064

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2021-04-19